

豊田市の水循環に関する取り組みについて

豊田市環境部環境保全課 環境調査・共働担当 濱家

豊田市の取り組み

川しらべ



博物館展示





川しらべ（環境学習）

目的

においや汚れなどの水質調査を通して、地域の水辺への関心や環境保全への意識を高め、環境配慮行動につなげる。

内容

水生生物調査と水質調査

対象

小学校 → 今年度は器材貸出のみ

自治区/フリースクール

時期

6月から9月まで



川しらべ（環境学習）

① 水生生物調査

- ・がさがさで生物を捕まえる
- ・捕まえた生物についてボランティアさんに説明してもらう。
- ・川底の触り心地、周囲のゴミの様子等も調査する。





川しらべ（環境学習）

2 水質調查

- ・職員が講義をする。
 - ・水の循環、市内河川水質の経年変化について
 - ・市内河川との比較調査（におい、色、パックテスト、透視度等）



川しらべ（環境学習）

活動の振り返り

アンケート

1. メールに添付されたお手紙
は、ご自身のものでしたか。
□はい□いいえ

2. お問い合わせ用紙の返信欄
に記入してある方の名前
と、お問い合わせ用紙の提出
日を記入して下さい。

3. 電話番号(※)を記入して下さい。
□はい□いいえ

4. 番組の放送時間帯を記入して下さい。
□午後の「月曜から夜更け」
□午前の「朝のマジック」

5. お問い合わせ用紙の提出日
と、お問い合わせ用紙の提出
日を記入して下さい。

6. お問い合わせ用紙の提出日
と、お問い合わせ用紙の提出
日を記入して下さい。

令和6年 川しらべ結果 巴川

巴川の状況

巴川は、新城市作手平ヶ村を源流とし、豊川市山地、足助地区、佐久地区を流れて開田地区に入るとろそく川（合流点）まで、延長は約6.4kmで、矢川支流の一級河川です。水質は、河川水質基準に該当するが、有機性汚染の指標であるBODは直近5か年平均0.7 mg/Lとやや良好な状態です。

*** 行政による水質調査結果**

■ 巴川（海側） ■

監視回数 年間監視回数0.03回/1箇所

- 測定：(375.3m) 管理：(4.12)
- DO：8.5 mg/L BOD：0.04 mg/L
- COD：3.5 mg/L NH_{3-N}：0.4 mg/L
- 全濁度：5.00 mg/L 全塗り：0.01 mg/L

*** 沿岸ごとの結果**

*** 沿岸部ごとに結果**

*** 水質汚濁（BOD）の経年変化**

*** 測定の様子**

*** 生息生物の確認結果（2022年）**

種別	確認件数
魚類	ヤマメ、アユ
甲殻類	ウナギ
貝類	イワカツリ、カニ類、モロコシ
総計	4種

***みんなの「川を守ろう宣言」**

- ・ごみをたまごのきのこさせない
- ・ゴミをこないで
- ・ゴミをあらべてださない
- ・だべものしきをながさない
- ・かわこのみを守ろう
- ・コラボをつなぐ

川しらべはみんなでやることでできました！川を、土を育てるための木みどりアーバンガーデンをつくるなど、川を守るためにみんなで協力してきました。自然の恩恵をいかで使うか、自分たちの責任を果たすかなど、決めてもらいました！

調査票とアンケートの結果をまとめて主催者へ送付します。



博物館展示 「豊田市の水環境について考えよう！」



目的

市民に対し、当市の河川調査結果を分かりやすく紹介し、
川の汚れの原因を考え、日頃の生活を振り返る機会とする。

内容

パネル展示、採水器具の展示、BOD色分け図パズル、
過去の川しらべスライド、川しらべ案内、アンケート



博物館展示 「豊田市の水環境について考えよう！」

アンケートの結果

質問：今回の展示で一番印象に残ったもの、初めて知ったことは何ですか。

回答：家からの汚れが多いこと

みずがよごれるのは、おうちのみず

生活は汚染に直結している。

川の水の大切さ

展示を通して日々の生活が河川水に影響することを知つてもらった

川しらべの応募

2組から応募があった。

**川しらべの実施につながり、より深く水環境について学習する機会を
つくることができた。**